

## 指導の狙い

話し言葉と書き言葉との違いを理解し、実際に話す場面にあふさわしい適切な表現を使うことができるようにする。

## 課題の見られた問題の概要と結果

A[4]二 「生徒会活動（小学校……児童会活動）」を場に応じた話し言葉にする。

正答率 48.6%

（※本パンフレットにおける正答率は、抽出調査のため推計値であり、誤差±0.2%程度の精度となっています。）

## 学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ

(7) 話し言葉と書き言葉との違い、共通語と方言の果たす役割、敬語の働きなどについて理解すること。

## 授業アイデア例

教材例 ● 説明メモ

### 学習の流れ

① 応援合戦の〔説明メモ〕を使って、実際に声に出して説明する。

〔説明メモ〕を基に、実際に話してみましょう。



教師

### 〔説明メモ〕

#### ◎ 応援合戦の道具

- ・ ペットボトル（500mL、一人2本まで）○
- ・ うちわ ○
- ・ 軍手 ○
- ・ 音楽 ×
- ・ クラッカー ×

色付け可。

#### ◎ 練習について

- ・ 練習場所……体育委員が指示
- ・ 練習時間……16:30まで（片付け含む）

→応援団長は担任に報告

② 小グループ内で順番に説明し合う（録音する）。

### 〔実際の説明の例〕

応援合戦についての連絡をします。  
まず、使用する道具のことです。応援合戦に使える道具は、ペットボトル、うちわ、軍手の三つです。ペットボトルは500mLの大きさで、一人2本までとします。うちわと軍手は、色を付けても構いません。なお、音楽を流したりクラッカーを使ったりすることはできないので注意してください。  
次に、練習についてです。応援合戦の練習場所は、体育委員が指示します。指示に従ってください。練習の終了時間は、16時30分です。それまでに片付けを終え、応援団長は終了したことを担任の先生に報告してください。  
以上です。全員で協力して、盛り上げましょう。



③ 録音したものを聞きながら、次の観点で相互評価する。

ア 聞いて分かりやすい表現になっているか。

イ 「（ ）」、「……」、「→」などの記号を、的確な話し言葉に変えているか。

④ 各グループの代表者の説明を学級に紹介し、よい点や改善点を確認する。